

ドイツ語（初級 B） 第 18 回 動詞の 3 基本形

* 授業の進み方は教科書の順序とやや異なる。シラバスも参照。

範囲：教科書第 11 課 A (S. 43-45)

《今回の基本例文》

なし

I 動詞の 3 基本形：不定詞、過去基本形、過去分詞

A. 動詞の 3 基本形 (S. 43)

■ 動詞の 3 基本形とは

動詞の 3 基本形：不定詞・過去基本形・過去分詞

* 英語における原形、過去形、過去分詞の 3 つと同じ。

◇ 3 基本形の役割は、ほぼ英語と同じと考えてよい。今学期はこれらを中心に学んで行く。

・ **不定詞**：話法の助動詞やそれに準ずる動詞と併用（すでに学習した）、

未来形に使用（⇒教科書第 12 課）、zu 不定詞として使用（教科書第 16 課）

* すでに学習したように、英語でいう原形のことをドイツ語では不定詞と呼ぶ。

・ **過去基本形**：過去形（⇒教科書第 12 課）に使用

* 現在形と同じく過去形も人称変化するため、1 人称単数のかたちを過去基本形と呼んでいる。過去形の人称変化については教科書第 12 課で扱う。

・ **過去分詞**：現在完了形、過去完了形（⇒教科書第 12 課）、受動態（⇒教科書 14 課）に使用、形容詞として（⇒教科書第 11 課）使用

◇ 3 基本形のつくり方には、やはり規則変化と不規則変化があり、規則変化を**弱変化**と呼び、不規則変化を**強変化**と**混合変化**に分ける。sein、haben、werden も不規則変化だが、これらとは別枠と考える。

規則変化 = 弱変化
不規則変化 ⊃ 強変化
 ⊃ 混合変化
 ⊃ sein, haben, werden

1 規則変化動詞（弱変化動詞）

《規則動詞 = 弱変化動詞の 3 基本形》

不定詞：語幹 + en / n

過去基本形：語幹 + te

過去分詞：ge + 語幹 + t

・ 英語と異なり、過去分詞に**接頭辞 ge-**がつくところに注意。

* 復習すると、語幹は不定詞から-en もしくは-n を除いたかたち。lernen なら lern、ändern なら änder。

◇ 弱変化動詞は完全な規則変化なので、規則だけ覚えればよい。

- ・ hören の 3 基本形：hören - hörte - gehört （←語幹が hör）
- ・ ändern の 3 基本形：ändern - änderte - geändert （←語幹が änder）

* こうした語尾が-en ではなく-n の動詞も、考え方は同じ。

◇ 語幹が-t や-d で終わるもの（教科書 S.9 の arbeiten 型）については、例えば arbeiten を例にとると、単に語幹+te だと*arbeitte や*gearbeitt となって発音しづらいため、語調を整える e を挿入し、

- ・ arbeiten の 3 基本形：arbeiten - arbeitete - gearbeitet

とする。日本語の感覚だと過去基本形が-tete となるのは奇妙に感じるかもしれないが、これで正しい。

練習 1

次の動詞の 3 基本形を答えよ（すべて教科書既出の規則動詞）。

1. lernen _____
2. lieben _____
3. kaufen _____
4. küssen _____
5. tanzen _____
6. legen _____
7. machen _____
8. stellen _____
9. reisen _____
10. waschen _____
11. kosten _____
12. antworten _____
13. angeln _____
14. wandern _____

2 不規則変化動詞

◇ 以下、本日の別紙「**不規則変化動詞のまとめ**」も参照。これらに関しては、残念ながら丸暗記するしかない。

* 英語で *speak - spoke - spoken...* などと唱えて覚えたのと同じ。

◇ a) **強変化動詞**は、

- ・ 語幹の母音を変化させて語尾を加えないかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭に ge-、語尾に -en を加えたかたちを過去分詞とする。語幹の母音のみならず子音も変化するものもある。

《不規則変化動詞の 1 つ、強変化動詞の 3 基本形》

不定詞：語幹 + en / n

過去基本形：○○

過去分詞：ge + XX + en

- ・ ○○や××は語幹と同じではない場合がほとんどで、要するに完全な不規則変化。

◇ b) **混合変化動詞**は、

- ・語幹の母音を変化させて語尾-te を加えたかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭に ge-、語尾に-t を加えたかたちを過去分詞とする。

《不規則変化動詞の 1 つ、混合変化動詞の 3 基本形》

不定詞：語幹 + en

過去基本形：〇〇 + te

過去分詞：ge + 〇〇 + t

- ・語幹が〇〇に変化する点で強変化と同じ、過去基本形の語尾が-te で過去分詞の語頭と語尾がそれぞれ ge-, -t という点で弱変化と同じなので、混合変化と呼んでいる。

- ・混合変化動詞の数は少なく、全部で 9 種類しかない。ただし、6 種類ある話法の助動詞は基本的に混合変化であり、それを加えると 15 種類になる。（⇒教科書 S. 48）

◇ c) **sein, haben, werden** については、教科書 S. 44 の表のまま覚える。

- ・sein の 3 基本形：**sein - war - gewesen**
- ・haben の 3 基本形：**haben - hatte - gehabt**
- ・werden の 3 基本形：**werden - wurde - geworden**

* これらは分類不可能だが、sein と werden は強変化に、haben は混合変化に近いといつてよい。

◇ 不規則変化動詞の 3 基本形は、教科書や辞書の巻末の変化表に記載されている。 不規則動詞は全部で 200 個弱あるとされるが、教科書の変化表にあるのは 125 個で、そのうち 50 個が緑地になっている。この授業では、その緑地の 50 動詞を中心に覚えてもらう。

* 変化表では、教科書第 3 課 A で学んだ a → ä 型や e → i/ie 型のような、不規則な現在人称変化についても記載されている。

3 分離動詞の 3 基本形 **4 過去分詞の形態についての注意** (S. 44)

◇ 分離動詞および非分離動詞の過去基本形、過去分詞は、基礎動詞（前綴りをとった動詞本体）をもとにつくる。 基本公式は以下の通り。

分離動詞 ┐ 過去基本形： 基礎動詞の過去基本形 前綴り

|

* 前綴りは分離して書く。abreisen → reiste ab など。

└

過去分詞： 前綴り + 基礎動詞の過去分詞

非分離動詞 ┐ 過去基本形： 前綴り + 基礎動詞の過去基本形

└

過去分詞： 前綴り - ge + 基礎動詞の過去分詞

-ieren 型動詞 ┐ 過去分詞： 規則変化の過去分詞 - ge

* 要は非分離動詞と -ieren 型動詞の過去分詞は ge- がつかない。

◇ 分離動詞や非分離動詞の 3 基本形に関しては、次のような回路で考えればよい。

- ・分離動詞 ab|reisen は、ab が前綴り、reisen が基礎動詞である。
- reisen は規則変化動詞なので、3 基本形は reisen - reiste - gereist である。
- よって、上の基本公式から、abreisen の 3 基本形は abreisen - reiste ab - abgereist。
- ・分離動詞 an|fangen は、an が前綴り、fangen が基礎動詞である。
- fangen は不規則変化動詞、3 基本形は fangen - fing - gefangen（巻末の変化表を参照）。
- よって、上の基本公式から、anfangen の 3 基本形は anfangen - fing an - angefangen。

・非分離動詞 **verstehen** は、**ver-**が前綴り、**stehen** が基礎動詞である。

→ **stehen** は不規則動詞、3 基本形は **stehen - stand - gestanden**（巻末の変化表を参照）。

→ よって、上の基本公式から、**verstehen** の 3 基本形は **verstehen - verstand - verstanden**。

◇ **beginnen**、**vergessen**、**verlieren** にも前綴り **be-**や **ver-**がついており、非分離動詞に該当し（ただし、基礎動詞 **ginnen** や **gessen** や **lieren** は現在では使われていない）、過去分詞には **ge-**がつかない。

◇ 外来語に由来する **-ieren 型動詞** も、過去分詞に **ge-**がつかない（過去形は規則変化と同じ）。

・ **studieren** の 3 基本形：**studieren - studierte - studiert**

練習 2

次の動詞の 3 基本形を答えよ（教科書既出ではない動詞には意味を付す）。

1. aus|füllen _____
2. zu|machen _____ (vt. 〈4 格〉を閉める)
3. auf|stehen _____
4. an|rufen _____
5. mit|bringen _____
6. zurück|geben _____
7. begegnen _____
8. vereinigen _____ (vt. 〈4 格〉を統一する)
9. bedauern _____
10. bekommen _____ (vt. 〈4 格〉を得る、=*get*)
11. entsprechen _____ (vi. 〈3 格〉に対応する)
12. produzieren _____ (vt. 〈4 格〉を生産する)

■ 練習問題の補足

Übung 1 (S. 45)

3. öffnen（語幹が-ffn で終わる動詞）は、実は **arbeiten** 型に該当する。ほか、上記練習 2 の小問 7 の **begegnen**（語幹が-gn で終わる動詞）なども同じ。

6～8, 10～12. 分離動詞や非分離動詞の 3 基本形については、本配付資料 S. 3-4 および練習 2 の要領で考えればよい。

Übung 2 (S. 45)

2. 前綴りの **voll-**は、分離動詞の前綴りである場合と非分離動詞の前綴りである場合の両方がある。この **vollenden** は後者。

4, 6, 9, 10. やはり分離動詞および非分離動詞の問題なので、上記 Übung 1 の 6～8, 10～12 の要領で考えること。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>